



女性防災会
活動報告 23

福良港津波防災ステーション♪

役員研修会

日時：令和元年 6 月 9 日（日）

場所：兵庫県南あわじ市

参加：役員とその家族等 20 人



他の地区や団体はどんな活動をしているのだろうか？
今後の活動の参考にするため、兵庫県南あわじ市にある福良港津波防災ステーションへ行ってきました。

渦潮をイメージしたこの建物は①備える②伝える③逃げる④学ぶの 4 つの役割を担っています。私たちは学習リーダーさんから津波に関するお話をたくさん聞き、学んできたので、報告いたします。



この地区は最大想定津波高が兵庫県で最も大きい 8.1 メートルにおよびます。避難場所は高台にある小・中学校で、津波が到達する 40～50 分の間に迅速な避難が必要です。防災学習室でアニメーションなどを見て、津波のしくみや恐ろしさを知り、避難方法の説明を受けました。子ども向けでとてもわかりやすい内容でした。



津波シミュレーションでは、津波が福良地区を襲うとどうなるか…！と、人の視点で映像を見ることができ、津波のイメージがリアルに持てました。

他にも、津波は人が走るよりも速い速度で追いかけてくることや、一度だけでなく 2 波、3 波と何度も襲ってくるため、半日は避難場所で待機しておくこと、日頃から津波避難に関する看板をチェックして、「この場で地震が起きたらどうする？」という考え方を習慣づける事など学びました。

北島町には山がありません。津波が起こった場合、建物の上層階で長時間避難し続けなければならない事がわかりました。その他にもこの研修で学んだたくさんの事を、今後の女性防災会の活動で広めていこうと思います。

以上で、研修報告を終わります。

（女性防災会 LINE 報告より引用・抜粋）